

学校名 川口市立舟戸小学校
所在地 川口市舟戸町2-1
電話 048-222-5364

1 本校の概要

本校は、荒川沿いの土手の上にあり、晴れた日には富士山が見えるところにあります。児童数 655 名、21 学級です。同じ敷地内に幼稚園、中学校があり、幼児、児童、生徒の交流活動により豊かな心を育むことができる環境にあるのも本校の特徴です。

2 本校の実践

(1) 実践の概要

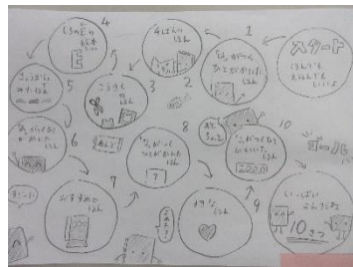
ア 貸出カードの導入

今年度より児童一人一人に貸出カードを作成し、貸出をスムーズにすることで、休み時間の図書室利用をしやすくした。カードは各クラス保管としている。



イ 読書週間の実施

読書への意欲付けを図るとともに、学校での読み聞かせや家庭での読書などによって豊かな心を養うことを目的としている。今年度は、図書委員の児童を中心に読み聞かせを行ったり、読書すごろくを実施したりし、さまざまな本にふれる機会になることを期待している。また、家庭との連携を図り「親子読書」を実施する。読んだ本は親子の感想とともにミライシードで共有する。



ウ 図書室環境の充実

本校の図書室は、校舎の真ん中にあり、明るく、ドアがなく、誰もが入りやすくなっている。季節や行事ごとに掲示物を替えたり、先生方のおすすめ本や月ごとに図書館司書が選書したおすすめ本を紹介したりするコーナーを設けている。



エ 図書ボランティアの協力

図書ボランティアに登録していただいた保護者の方々には、児童が作成した本校のキャラクター「ふなとん」のしおりを装飾していただき、ラミネート加工し、児童全員にプレゼントした。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

貸出カードを導入したことにより、休み時間に列を作ることがなくなった。図書委員にとっても、バーコードをスキャンするだけになったので、間違えがなくなり、仕事の効率化が図れている。

おすすめ本の紹介や本の表紙を見せて並べることで、その本を手にする児童が増えた。

月に一度、読み聞かせボランティアの方々に来ていただき、読み聞かせや本の紹介をしてもらっている。その本を探しに来る児童や読み聞かせを楽しみにしている児童が増えた。

(2) 課題

読書記録として「ふくろうカード」を実施し、毎月図書委員が集め、集計し、合計冊数を報告しているが、読書をしているのに記録を残さない児童も多いため、「ふくろうカード」の活用方法を考える必要がある。

人気のある本の貸出冊数は多いが、まだ一度も貸出のない本がある。興味を持ってもらえるようなPOPや紹介方法を考える必要がある。

(3) おわりに

児童が気持ちよく図書室を利用できるよう環境整備をするとともに、様々な観点から図書館教育の推進を図っていきたい。